

## 令和5年度 事業報告

令和5年度は、アフターコロナにおける旅行需要の増加に加え、為替相場が円安方向に進んだことなども影響し、訪日外国人旅行者数は、3月には単月として過去最高の300万人を超えるなど急速な回復を見せました。また、成田空港におきましては、SKYTRAX社が実施する空港格付評価“WORLD AIRPORT RATING”において、評価最高位となる5スターを獲得するなど、その優れたサービスと設備が国際的に認められることとなりました。

当期における成田空港の運用状況としましては、航空機発着回数は国内線は前年度比2%減の51,095回と若干減少したものの、国際線は同34%増の168,632回、全体では同24%増の219,727回となり、航空旅客数は、国際線が同102%増の27,448千人、国内線が同12%増の7,811千人、全体では同72%増の35,259千人となりました。

令和5年度の旅客数をコロナ禍前の令和元年度（2019年度）と比較すると、国際線81%、国内線105%、全体では85%の水準まで戻っており、着実に回復しつつあります。

このような状況の下、令和5年度の当協会は、事業を持続可能なものとし、再び成長軌道に乗せられるよう様々な施策を実施してまいりました。特に事業規模の急回復に伴う人員不足に対応するため、スタッフの採用活動を継続して実施するとともに、採用難の改善や定着率向上に繋がる処遇改善策を進めてまいりました。また、業務効率化によるコスト削減を進める一方で、手荷物一時預かり所の再開やコインロッカー事業拡大などの収益力向上に向けた取り組みによって、コロナ禍における助成金収入に依存した状況から脱却し、収支の健全化を図りました。

公益事業では、小学生を対象とした野球大会やサッカー大会、中学生を対象とした英語スピーチコンテストを開催したほか、保育ルームたんぼぼの運営については、コロナの影響で減少した園児数を回復させるための取り組みとして、空港関連事業所への周知や空港従業員向けポスター掲示等の募集活動のほか、空港内保育園ならではの魅力ある施設運営のPRなど、定員充足に向けた諸施策と並行しながら着実に施設運営を実施してきたことで、徐々に園児数を増加に転じさせることができました。

受託事業では、環境業務において、航空機騒音実態調査や環境監視システム運用業務等の従来からの業務のほか、サステナブルNRT2050及び空港脱炭素化の推進に関する業務などを実施しました。旅客案内業務においては、4月よりWHILL自動運転モビリティサービスの運航に係る業務を開始したほか、フェイスエクスプレスサービス業務、ファーストレーン案内業務等の運用時間を延長するなど、旅客の回復に伴う運用時間や人員配置等の対応を適宜実施しました。

## 第1 事業概要

### 1. 空港利用者の便益増進に関する事業

#### (1) 日本文化紹介体験事業

##### ① 日本文化紹介体験イベント

日本文化の紹介体験イベントについては、NAA と調整の結果、引き続き休止となりました。

##### ② 空港周辺ツアー

成田空港トランジット&ステイプログラム連絡会が実施する空港周辺ツアーについては、調整の結果、ボランティア同行型ツアーは引き続き休止となりました。当協会においては、同ツアーの魅力を SNS (Facebook) を活用して発信したほか、ボランティアのモチベーション維持を目的としたメールマガジンの配信を行いました。

### 2. 空港と空港関係地域社会との調和促進に関する事業

#### (1) スポーツ大会開催事業

小学生を対象とした野球大会（第 22 回）を 4 月、サッカー大会（第 29 回）を 7 月に開催しました。

なお、中学生を対象としたバレーボール大会については、関係各所と調整の結果、開催を見送りました。

#### (2) 英語スピーチコンテスト

中学生を対象とした英語スピーチコンテストについては、暗唱の部（1、2 年生）、スピーチの部（3 年生）の 3 部門に 23 校から 55 名の応募がありました。昨年度と同様、一次審査は提出された暗唱・スピーチの発表動画を審査し、二次審査は市内のホールにて開催しました。

#### (3) 職場体験受入事業

空港周辺市町の中学生、高校生を当協会が実施する旅客案内業務に受け入れ、社会経験の場を提供しました。

中学校 1校 参加2名

高等学校 1校 参加3名

#### (4) その他の事業

空港見学会、地域貢献事業、空港内イベント AIRPORT MARKET「空市-soraichi-」については、令和 5 年度も関係各所との調整を踏まえ中止しました。

### 3. 空港に係る広報活動に関する事業

#### (1) エアポートニュース発行事業

「NARITA AIRPORT NEWS」については、空港関連事業者の年頭の挨拶を掲載した 2024 年 1 月号 (No.366) を発行しました。(発行部数 1,400 部) また、NAA への配布につ

いては今号よりペーパーレス化し、広報部を通じて同社内にリンク先を配信していただきました。

## (2) 空港業務紹介事業

学生の進路選択や一般社会人の転職等に際し、空港関連企業を就職先とする動機づけを目的として制作した動画（グランドハンドリング業務・保安検査業務の紹介）を SNS による配信やリクルートイベント等で上映しました。また、動画の PR チラシを各種リクルートイベント、空港関連施設、空港周辺の高校等に配布しました。

## 4. 空港に係る調査研究に関する事業

空港環境に関する調査研究事業として以下を実施しました。

### (1) 航空機騒音の影響に関する研究

- ① 第 52 回国際騒音制御工学会議・Inter-Noise2023（発表）  
「着陸する航空機からの特異音の実態把握と騒音評価への影響」
- ② 日本音響学会 騒音・振動研究委員会（共著）  
「航空機騒音の AI 識別：過去の研究と今後の課題」
- ③ 日本音響学会 2023 秋季研究発表会（共著）  
「航空機騒音の AI 識別：CNN を用いた地上騒音と飛行騒音の分類」
- ④ 日本騒音制御工学会 2023 秋季研究発表会（共著）  
「航空機騒音の低騒音化変遷に伴う音質評価の検討」  
「航空機騒音の低騒音化変遷に伴う音質の印象評価実験」  
「航空機騒音の AI 識別：妨害音を考慮したモデル検討と Swarm Learning の応用の試み」
- ⑤ 日本音響学会 2024 春季研究発表会（共著）  
「航空機騒音の AI 識別：妨害音重畳判定の分析手順に関する検討」

### (2) 航空環境調査に関する協力

- ① 航空機騒音監視評価委員（成田空港周辺地域共生財団）
- ② 日本騒音制御工学会 2023 秋季研究発表会 実行委員・セッション座長
- ③ 共同研究 1 件

### (3) その他

- ① 日本騒音制御工学会 2023 春季研究発表会
- ② 環境アセスメント学会 2023 年次大会
- ③ 大気環境学会 年会
- ④ 日本水環境学会 年会

## 5. 空港従事者の資質向上等に関する事業

### (1) 保育ルーム運営事業

保育ルームたんぽぽの運営については、少子化や新型コロナウイルス感染症の影響により令和 5 年 4 月の保育児童数は前年同月（68 名）と比較して 19 名減少し、49 名（0 歳児 0 名、

1歳児8名、2歳児9名、3歳児4名、4歳児16名、5歳児12名)でスタートしました。

しかしながら、昨年5月の5類感染症移行後は、徐々に利用者が増加に転じ、令和6年3月には63名(0歳児9名、1歳児12名、2歳児9名、3歳児6名、4歳児16名、5歳児11名)まで増加しました。

日々の活動については、保護者と一緒に参加できる親子遠足、公営施設での運動会や生活発表会を実施する等、コロナ禍以前の状態に戻し各種の行事を実施しました。生活面においては、英語あそびと体育教室の通年実施や食育・多文化理解教育、みかんの収穫体験等、日々の活動を通してSDGsを学べるような取り組みを行いました。また、ランプセントラルタワーの見学のほか、七夕やクリスマスなどターミナルでのイベントを通して空港内保育園としての魅力をPRするとともに、定員充足に向け、ホームページやSNS等を活用した情報発信のほか、NAAグループ会社や空港内事業者への周知、空港内での園児募集ポスター掲示等の周知活動を実施しました。

## (2) その他の事業

空港従事者の資質向上等に関する事業として実施しておりました講演会、テニス大会については、関係各所との調整を踏まえ中止しました。

## 6. 委託を受けて空港の管理業務の一部を行う事業

### (1) 環境業務

#### ① 統合環境監視システム運用業務

NAA 航空機騒音監視システム、大気質常時監視システム、水質・地下水位自動観測システムの運用及び保守点検業務を実施しました。

#### ② 航空機騒音に関する調査解析業務

NAA 及び空港周辺市町等から受注した空港周辺の航空機騒音実態調査、航空機に関する各種調査並びに解析業務を実施しました。

#### ③ 空港周辺の大気質に関する調査解析業務

NAA から受注した空港周辺の大気質に関する調査及び解析業務を実施しました。

#### ④ 空港周辺の水質に関する調査解析業務

NAA から受注した空港周辺の水質に関する調査及び解析業務を実施しました。

#### ⑤ 空港カーボンニュートラルに関する業務

NAA から受注したサステナブルNRT2050及び空港脱炭素化等の推進に関する算定・分析業務を当初の予定より内容を拡充して実施しました。

#### ⑥ 自然環境保全に関する生物保全業務

NAA から受注した環境影響評価手続きに基づく生物の生息域外保全業務を実施しました。

⑦ 航空機落下物防止に関する業務

NAA から受注した氷塊付着状況、部品欠落に係る業務を実施しました。

⑧ その他の調査業務

航空機騒音格付け確認、エンジン試運転低周波音、住宅遮音効果、カーボンプライシング動向調査、外来植物除去等の業務を実施しました。

(2) 旅客案内業務

NAA から受注した第1旅客ターミナルビル南棟における旅客案内業務は、運用時間や人員配置等体制が回復し、スタッフ採用を継続しながら予定通り事業を実施しました。

- ・4月より WHILL 自動運転モビリティサービスの運行に係る業務を開始
- ・フェイスエクスプレスサービス業務は4月より時間を延長し、人員配置も増加
- ・ファーストレーン案内業務は8月に再開し、12月より時間を延長

(3) 旅客サービス施設運営業務

NAA から受注した旅客サービス施設運営業務については、施設の運用時間や人員配置等体制が回復し、予定通り事業を実施しました。

- ・令和4年12月に営業時間8時～18時で再開した第2旅客ターミナル（サテライト）リフレッシュルームは4月に営業時間を7時～21時半に延長

(4) その他の業務

① 「成田空港公式ガイド」の編集

NAA から受注した各ターミナルの店舗・サービス情報等を掲載したお客様向け公式ガイドである「成田空港フロアガイド」の編集業務について、4月に発行、10月に増刷したほか、在庫管理および納品作業を実施しました。

なお、編集業務とともに実施してきた当ガイドの広告掲載企業募集に係る広告代理店業務は令和5年度をもって終了しました。

② 「成田空港ハンドブック」の発行

成田空港に関する各種情報を掲載した「成田空港ハンドブック 2023 年度版」(NAA 監修)を発行しました。

③ 談話室の運営

令和5年3月13日以降マスク着用の考え方が見直されたことに伴い、座席数を2卓8席から4卓19席に戻し、5月8日の5類感染症移行後は通常の34席で営業しました。

④ 書道・絵画展作品整理作業

NAA から受注した成田空港周辺児童書道・絵画展の応募作品の整理・集計、展示場の設

営、表彰式の補助作業等を実施しました。

- ・応募学校数 78 校、応募作品数 11,105 点（書道 6,378 点、絵画 4,727 点）

⑤ 案内ボランティア事務局業務

成田空港案内ボランティアについては引き続き活動休止となりましたが、NAA から受注したボランティアが着用する制服等の管理やボランティアへの空港情報の定期的なメール配信等の業務を実施しました。

⑥ 空港見学ツアーに係るガイド業務

GPA から受注した空港見学ツアーにおけるガイド業務を実施しました。

- ・年間実施回数 11 回 ガイド 11 名

⑦ 空港内従業員実態調査

NAA が発注する従業員実態調査業務については、前年度から引き続き行っていた調査票の集計・とりまとめを完了させ、調査結果の報告書を 8 月末に納品しました。

○調査結果 調査基準日 2023 年 2 月 1 日（前回調査 2017 年 11 月 1 日）

事業者数：619 事業者（前回調査 673 事業者 △54 事業者（前回比 92.0%））

従業員数：36,315 人（前回調査 43,271 人 △6,956 人（前回比 83.9%））

## 7. その他協会の目的を達成するために必要な事業

### (1) 受託業務

一般財団法人空港振興・環境整備支援機構から受注した他空港に関する以下の騒音実態調査や騒音予測作業を実施しました。

- ・騒音予測モデルに係る作業
- ・地方空港等騒音実態調査
- ・騒音予測  $L_{den}$  コンター作成

### (2) 手荷物一時預かり事業

新型コロナウイルス感染症の影響による旅客数の減少により、令和 3 年 9 月 9 日から店舗の運営を休止しておりましたが、令和 5 年 4 月 1 日より営業を再開（営業時間 7 時～21 時）し、旅客の回復に伴って 12 月からは通常営業時間（6 時半～22 時）に戻しました。

コインロッカーについては、令和 5 年 4 月 1 日に株式会社グリーンポート・エージェンシーより第 1、第 3 ターミナルにおけるロッカー事業の譲渡を受け、従来から運営していた第 2 ターミナルのロッカーを含め、空港内すべてのコインロッカーの管理運営を実施しました。また、12 月には第 1 ターミナルビルの 3 か所においてロッカーの増設を行いました。

## 第2 庶務事項

### 1. 評議員会・理事会

(1) 第36回理事会（通常） 令和5年6月12日開催

- 第1号議案 令和4年度事業報告承認の件
- 第2号議案 令和4年度決算承認の件
- 第3号議案 公益目的支出計画実施報告書の承認の件
- 第4号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項承認の件
- 報告事項 職務の執行状況報告の件

以上4議案について審議決定されました。

(2) 第16回評議員会（定時） 令和5年6月28日開催

- 報告事項1 令和4年度事業報告書の内容報告の件
- 第1号議案 令和4年度決算承認の件
- 報告事項2 公益目的支出計画実施報告書の内容報告の件
- 報告事項3 令和5年度事業計画書及び予算書の内容報告の件
- 第2号議案 理事選任の件
- 第3号議案 評議員選任の件

以上3議案について審議決定されました。

(3) 第37回理事会（臨時・書面決議） 令和5年7月1日決議

提案事項

- 第1号議案 会長・理事長・常務理事の選定の件
- 第2号議案 臨時評議員会の決議の省略による議題の決定について

以上提案について決議されました。

(4) 第17回評議員会（臨時・書面決議） 令和5年7月21日決議

提案事項

- 第1号議案 理事選任の件

以上提案について決議されました。

(5) 第38回理事会（通常） 令和6年3月27日開催

- 報告事項 職務の執行状況報告の件
- 第1号議案 令和6年度事業計画承認の件
- 第2号議案 令和6年度予算承認の件
- 第3号議案 規程改正承認の件  
(職員就業規則及び職員給与規程の改正)

以上3議案について審議決定されました。

## 2. 役員等

### (1) 評議員 令和6年3月31日現在

評議員	大森 寿明	元 日本ホテル(株) 会長
評議員	小島 直人	(株)グリーンポート・エージェンシー 代表取締役社長
評議員	斉田 正己	元 成田国際空港(株) 代表取締役副社長
評議員	佐久間 勇	(一財)芝山町振興公社 理事長
評議員	関 恒明	成田国際空港(株) 取締役 管理部門長
評議員	関根 賢次	成田市 副市長
評議員	坪川 誠	元 (財)成田国際空港振興協会 理事長
評議員	永井 隆男	前 (公財)航空科学博物館 理事長
評議員	中留 恵孝	元 (株)成田エアポートテクノ 代表取締役社長

(五十音順)

### (2) 理事及び監事 令和6年3月31日現在

代表理事	深谷 憲一	(一財)成田国際空港振興協会 会長
代表理事	川島 栄治	(一財)成田国際空港振興協会 理事長
業務執行理事	吉岡 美恵子	(一財)成田国際空港振興協会 常務理事
理事	岩崎 俊一	(一財)空港振興・環境整備支援機構 理事長
理事	蝦名 邦晴	(一社)日本旅行業協会 理事長
理事	延命 誠	京成電鉄(株) 取締役執行役員 鉄道本部運輸部長
理事	大八木 淳子	日本航空(株) 成田空港支店長
理事	岡 功士	全日本空輸(株) 上席執行役員 成田空港支店長 兼 ANA成田エアポートサービス(株) 代表取締役社長
理事	亀井 繁幸	前 成田国際空港 航空会社運営協議会 事務局長
理事	佐藤 育哉	成田国際空港(株) 執行役員 経営企画部門 関連事業部長
監事	土屋 伸一	成田国際空港(株) 財務部門 財務部長
監事	橋本 勝	元(株)グリーンポート・エージェンシー 代表取締役社長

(理事・監事 五十音順)

## 3. 基本財産

令和5年度末現在 20,000千円

## 4. 事務局

### (1) 事務所

千葉県成田市古込字古込1番地1 (成田空港内第2駐車場ビル南棟P3028)

### (2) 職員数 (令和6年3月31日現在)

①総務部	7人
②公益推進部	5人
③環境技術部	20人
④旅客事業部	54人 (職員・嘱託職員・特定職員・契約職員)
	34人 (パート職員・派遣職員)
⑤出向・育児休業者等	14人
合計	134人 (役員を除く)